

【テーマ3】咲洲庁舎の活用促進等

めざす方向

- ◎咲洲庁舎の安全性確保と収益性の向上をめざし、平成28年9月の戦略本部会議で方針決定した「大手前・咲洲庁舎の整備活用について」に基づき、同庁舎の長周期地震動対策（追加対策）に着手するとともに、7～17階の入居事業者公募を実施します。
（中長期の目標・指標）
- ・咲洲庁舎の長周期地震動対策（追加対策）の実施
 - ・咲洲庁舎の活用促進

咲洲庁舎の活用促進

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（H30.3月末時点）>
<p>■咲洲庁舎の活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・咲洲庁舎の空きスペースの活用促進のため、低層階（7～17階）の入居者を公募。 ・併せて、次の取組みを実施。 上層階：入居者公募に向けて準備。 店舗区画（1～3階）：不動産斡旋事業者の活用などを通じて、営業事業者の入居を促進。 <p>（スケジュール） 咲洲地区の用途制限に係る大阪市条例改正後の夏頃を目途に、低層階（7～17階）の入居事業者を公募。</p>	<p>◇活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低層階（7～17階）の入居者公募を実施し、入居者の選定・契約手続きを行う。 <p>◇成果指標（アウトカム） （定性的な目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 咲洲庁舎の活用促進（数値目標） ・咲洲庁舎の稼働率向上：概ね80% 【H28年末時点稼働率 約68%】 	<p>○低層階（7～17階）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月12日から7月14日まで入居者公募を実施。 ・2事業者から応募があり、8月9日に入居事業者を決定・公表。 【決定概要】 事業者名：(株)リコジャパン及び(株)西辻工務店 使用目的：宿泊施設 決定区画：低層階（7～17階）の全フロア ・平成30年1月26日 定期建物賃貸借契約締結。 <p>○店舗区画（1～3階）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月に新規店舗（飲食店）が1店開業。 ・平成30年4月に、新規店舗（不動産相談）が開業予定。 <p>○咲洲庁舎の稼働率 低層階入居により、約84%に向上。</p>

咲洲庁舎の長周期地震動対策（設計）の実施

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（H30.3月末時点）>
<p>■咲洲庁舎の長周期地震動対策（設計）の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・咲洲庁舎に追加設置する制震ダンパーの実施設計を行う。 <p>【ダンパー内訳（追加対策分）】 鋼材系ダンパー 124台 オイルダンパー 144台 計268台</p> <p>（スケジュール）</p>	<p>◇活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 制震ダンパーの実施設計を行うとともに、平成30年度中の着工に向けた工事の発注準備を進める。 <p>◇成果指標（アウトカム） （定性的な目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・咲洲庁舎の耐震安全性の向上 	<p>○制震ダンパーの実施設計 現地調査の上、詳細な構造解析を行い、補強箇所を確定するとともに、室内工事に伴うレイアウト変更等について部局・テナントと調整し、設計内容を固めた。 【確定したダンパー内訳（追加対策分）】 鋼材系ダンパー 140台 オイルダンパー 120台 計260台</p>

29年4月～30年2月：実施設計・積算・工事発注

(数値目標)
 ・国交省新基準（平成28年6月）のクリア

自己評価

達成

【部局長コメント（総評）】

<取組状況の点検>

- 咲洲庁舎の活用促進
 当初の目標を達成することができました。
- 咲洲庁舎の長周期地震動対策（設計）の実施
 当初の目標を達成することができました。

<今後の取組みの方向性>

- 咲洲庁舎の活用促進
 低層階の入居事業者と、開業に向け、改修工事等に関する調整を行います。
 18階以上のフロアについては、会議室・書庫等の集約により45階以上の高層階にまとまった空きスペースを確保するとともに、事業者のニーズ把握や誘致のためプロモーション活動を行うなど、入居者公募に向けた準備を進めます。
- 咲洲庁舎の長周期地震動対策の実施
 工事発注を行い、平成30年度中に着工します。